



思いやりと生きる力

童心会だより11月



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを きゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

〔 改めて私たちの保育目標”思いやりと生きる力”の意味を考えよう！ 〕
～ 思いやり(慈悲) と 生きる力(智慧・実人生を生き抜く力) ～

今、私が自分の人生をふり返って見た時、とても不思議な出来事がたくさんありました。
その内の一つが、私たち(社福)童心会の永遠に輝き続けるこの保育目標だったのです。

何度も何度も書いたことなのですが、私は1973年(昭和48年)4月に茨城県下館市(現:筑西市)、
人口6万有余の町に定員60名(0歳から5歳まで)の小さな保育園を開設しました。
その時、考えていたこの保育目標がこの私に天から降りてきたのです。

「 思いやり(慈悲) と 生きる力(智慧) 」

私たちは本当に長い間「保育目標(child care goal)」としてきました。
しかし改めて今、自分の長いようで短い人生をふり返ってみた時、
なぜか違うのではないかと思うようになったのです。
もっと長い人間教育、生まれてから死を迎える時までを見つめ続けるべきなのだと思います。
だから目標は次のようになりました。

「 Human health care goal (幸せになる目標) 」

人生の“Well-being 幸せになろうね！ 幸せになろうよ！”を獲得できるような
「人格・人間性・人生観・主体(agency)」の核を創るために
“人を育み続けること”なのではないかと気がついたのです。
慈悲は二つの言葉から成り立ち、それぞれ少し異なる方向の”優しさ”を表しています。



笑ったかす一番
遊んだかす一番

だっこされたかす一番
でかけたかす一番

やさしくされたかす一番
チャレンジしたかす一番



E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL http://doushinkai.jp

TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲

「慈(じ)」…人に安らぎを与えようとする心

・「あなたが幸せでありますように」

・「安心して過ごせますように」

という、相手の幸せを願う温かい心を表します。

「悲(ひ)」…人の苦しみや哀しみを和らげようとする心

・「あなたの苦しみが少しでも軽くなりますように」

・「つらい思いをしている人を放っておけない」

という相手の痛みによりそう心を表します。

また、「生きる力(智慧)」を私たちは「実人生を生き抜く力」と考えています。

即ち「生きる力」をただ単なる知識や技術(知っていること)だけでなく、

「自分の人生をどう生きるか、を自ら考え、選び・行動する力」であると考えています。

それは「愛された育ち・だきしめ言葉(人間学)」と「脳科学に基づく育ち(人間科学)」の

両面から養われるものであり、感情・情動・身体感覚を通して体験的に身につけていく“生き方の知恵”です。

私たちが、長い間唱えてきた「五感と六識を刺激する0歳からの人間教育」は、

まさに智慧の根を育てる教育です。

ここでの「六識」は仏教由来の言葉で”心で感じる・気付く”という内面的感受を指すのだそうです。

つまり、外界を五感で感じ、心で受け止め、

意味づけを行うプロセス全体が「智慧」なのです(Chat GPT解説を参照)。

最後に宇宙の摂理(自然界を支配している理法・きまり)を研究している理学博士の佐治春夫氏の説によると

科学と宗教という観点から、宗教に共通する基本的な要素は何かについて調べた時、

次のようなことが分かったというのです。

『世界に伝えられてきた20の宗教、ヒンズー教、ユダヤ教、仏教、キリスト教、イスラム教、道教、儒教など

多くの訓えの中から大切な部分を因数分解すると基本教義を一言で表現すると

「慈悲(思いやり)」という言葉になるというのです。

それがすべての宗教に通底(底辺に共通性)する思想だとわかった』というのです。

そしてその訓えは私たち(社福)童心会の人間としての生きる心得「現代版:無財の七施」になったのです。

〔人間としての生きる心得(現代版:無財の七施)〕

1. 笑 顔 = とびっきりの笑顔でおもてなし

2. 挨 拶 = 思いやりが心に届くご挨拶

3. 思いやり = すべてのものによりそう心

4. 感 謝 = いつもありがたい心を忘れない

5. 傾聴 = やさしい眼差しで聴くこと

6. 共感 = 共になって、共に喜び、共に悲しむ心

7. 受容 = 受け入れ、分かちあい、ゆずりあう心

私は改めて「思いやり(慈悲)と生きる力(智慧・実人生を生き抜く力)」を考えて見た時、

私たちが学び続けるテーマは「人間学と人間科学に基づく人間教育」なのではないかと確信したのです。

”人生百年”と言われてから久しいのですが、「生涯学習・生涯教育(生まれてから死を迎えるまで)」の生涯を人間教育の場として捉えなければならないのです。

〔生涯にわたる歩みの階段〕

ひとりで	できる	ひとりで	できた	ひとりで	生きる	自分を	創る	自分を	生きる
みんなと	できる	みんなと	できた	みんなと	生きる	みんなと	創る	みんなと	生きる
人のために	できる	人のために	できた	人のために	生きる	人のために	創る	助けあって	生きる
助けあって	できる	助けあって	できた	助けあって	生きる	助けあって	創る	世のために	生きる

そして私たちのスローガン(Slogan)は次のようになりました。

Want It All (すべてを手に入れよう)

Human Health Care Goal (自分が幸せになるGoal!)

今日もまた一日一生を念じながら

すべての仲間たちの Well-being ”!! 幸せになろうね! 幸せになろうよ!”と

祈り願い続けていくつもりです。どうぞいつまでもお幸せに!!

令和7年 11月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲